



市長新春あいさつ

あけましておめでとございます



羽村市長
並木 心

新しい年を迎え、市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、「新型コロナウイルス」という見えない敵と、答えの見えない戦いに明け暮れた一年でした。このような状況にあっても、累積の患者数が、26市の中でも少ないという状況を維持できていることは、市民の皆様のご理解、ご協力の賜物であると、改めて感謝申し上げます。また、日夜献身的にご尽力いただいている医療や福祉、市民生活を支える仕事に従事されている関係者の皆様には、心からお礼を申し上げます。市におきましても、引き続き感染防止の対策をとりながら、西多摩保健所と連携して、市民の皆様への安全・安心の確保に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は経済状況にも大きな影を落とし、市内事業者の皆様には、厳しい状況が続いています。市では、全力で地域経済を支える取組みを進める覚悟で、昨年の産業祭では、クーポン券の配布やスタンプリーを実施し、さらには、商工会と連携して実施している20%プレミアム付き市内共通商品券の販売など、市内産業の活性化に積極的に取り組んでいるところです。

引き続き、市民の皆様、事業者の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。次に、市の最重要施策である羽村駅西口土地区画整理事業については、この5年間で、まちの姿も目に見える形で変わってきております。この間、権利者をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力のもと、施工の安全確保に万全を尽くし、順調に事業が進展してきております。

さて、昨年11月に来日したIOC・国際オリンピック委員会会長は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を実現するという強い意思を表明されました。市がホストタウンとなっているキルギス共和国との交流についても、心のこもった取組みができていくものと感じております。市では、世界が新型コロナウイルスを克服した証として、オリンピック・パラリンピックが開催されることに明るい希望を持ち、引き続き大会気運の醸成に努めてまいります。

時代は平成から令和へと移り、羽村市は、次年度、第五次長期総合計画の10年間で最終年度を迎え、現在、令和4年度を始期とする第六次羽村市長長期総合計画の策定に向けた検討を進めているところです。国難とも言うべき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、未だ収束のきざしが見えない状況が続いています。先の見えない荒波の中にあつて、羽村市という大きな船を無事に進めていくために、市民の皆様のご支援とご協力を心からお礼申し上げます。

市長が、市民に向けてメッセージを発表しました

12月15日、新型コロナウイルス感染拡大が羽村市にも及んでいる状況を受け、並木市長がテレビはむら・市公式サイトを通じて、市民に感染拡大防止への協力を呼びかけました。

メッセージ

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が全国的に増加し、連日、過去最多水準を更新するなど、拡大局面を迎えています。羽村市では、4月に5人の方の感染を確認して以降、現在の累計感染者数は50人を超え、8か月余りの間に10倍に増加するなど、憂慮すべき状況が続いています。国は、Go Toトラベル事業を1月11日までの間、全国一斉に一時停止することを決め、これに先立ち、

12月27日までの東京都を目的地にした旅行を事業から除外し、東京都から出発する旅行も自粛を呼び掛けています。また、東京都も、飲食店などに対する営業時間の短縮要請を延長し、対策の強化を図っています。今、皆様の大切な命を守るために、極めて重要な時期となっております。感染を防ぐためには、ウイルスが体内に侵入することを防ぐことが大切で、ウイルスを「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことが重

要です。そのために、改めて、手洗い、マスクの着用、換気、消毒などの基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。また、免疫力の維持、コロナ禍におけるストレス解消のためには、市内の自然環境を有効に活用していただき、3密を避けての散歩や適度な運動が効果的です。皆様の大切な命を守るための感染予防の行動に、ご協力いただけますよう、お願いいたします。

コロナ禍でのお正月の過ごし方

問合せ 健康課（保健センター内）☎624

お正月は帰省や初詣など、人の移動が集中し、「密」になりやすくなります。また、注意力の低下や気の緩みなどが生じやすくなります。感染リスクが高まる「5つの場面」に注意して生活しましょう。

体調の悪い方は帰省や初詣などの外出は控えましょう。帰省先で体調が変化した場合は、会食や外出などは控えましょう。熱や咳などの症状があり、心配な場合は、まずかかりつけ医に相談してください。かかりつけ医がいない場合や相談先に迷っている場合は、**東京都発熱相談センター** ☎03-5320-4592（年中無休、24時間対応）に相談してください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

～こんな場面では特に気を引き締めよう！～

1

飲食を伴う懇親会

2

大人数や長時間の飲食

3

マスクなしでの会話

4

狭い空間での共同生活

5

居場所の切り替わり

私は、今年のお正月はお家でのんびり過ごさりん♪



詳しくはこちら
新型コロナウイルス感染症対策推進室